

GNF-Jの施設運転実績(令和4年度)

令和5年7月

(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

1.加工施設運転状況

令和4(2022)年度ウラン入出荷量の推移

令和4 (2022)年度計

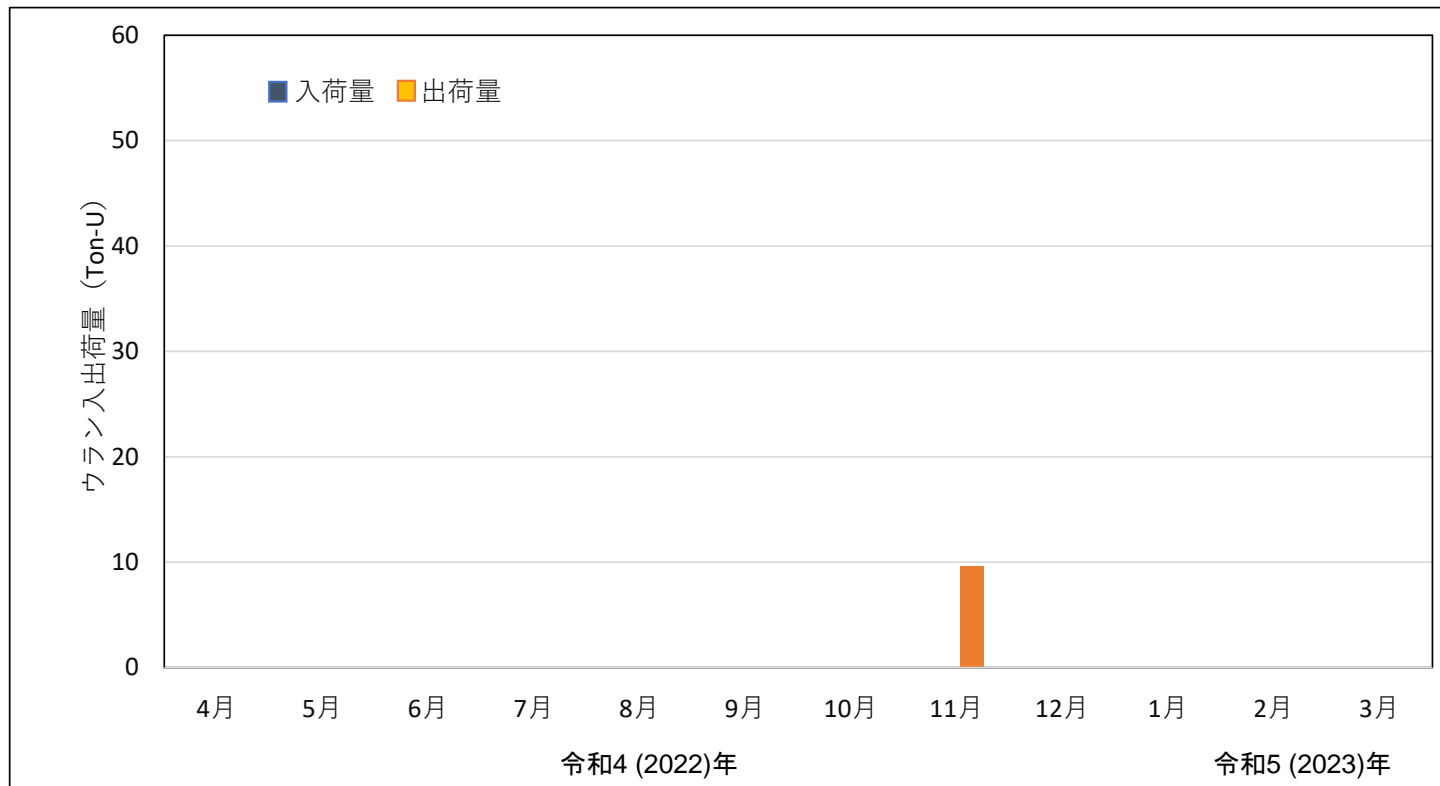
ウラン入荷量 : 0 Ton-U

ウラン出荷量 : 9.6 Ton-U

ウラン在庫量

2022年3月末 : 418 Ton-U

2023年3月末 : 408 Ton-U



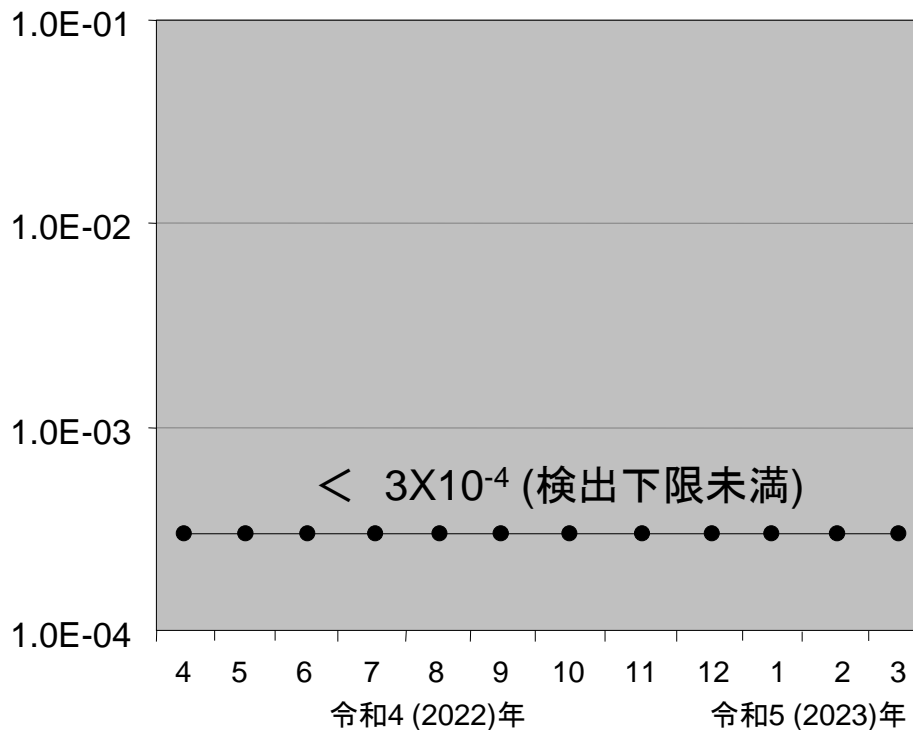
(参考) 令和3 (2021)年度計

ウラン入荷量 : 0 Ton-U

ウラン出荷量 : 0 Ton-U

2.排水・排気実績

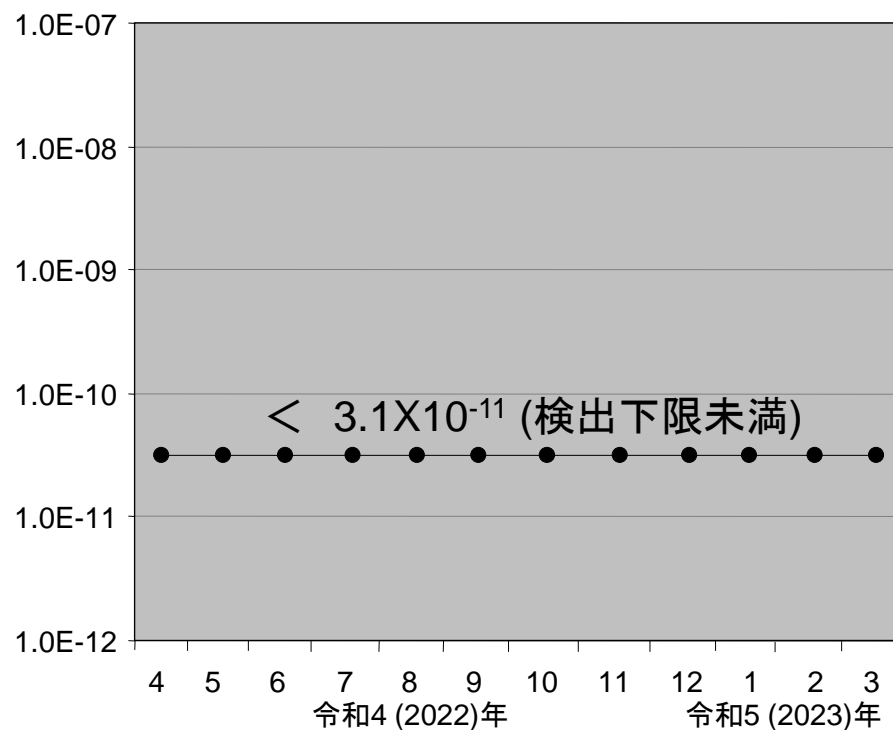
(Bq/cm³) 排水中のウラン濃度



法令値：2X10⁻² Bq/cm³ (3月平均)

(月/年)

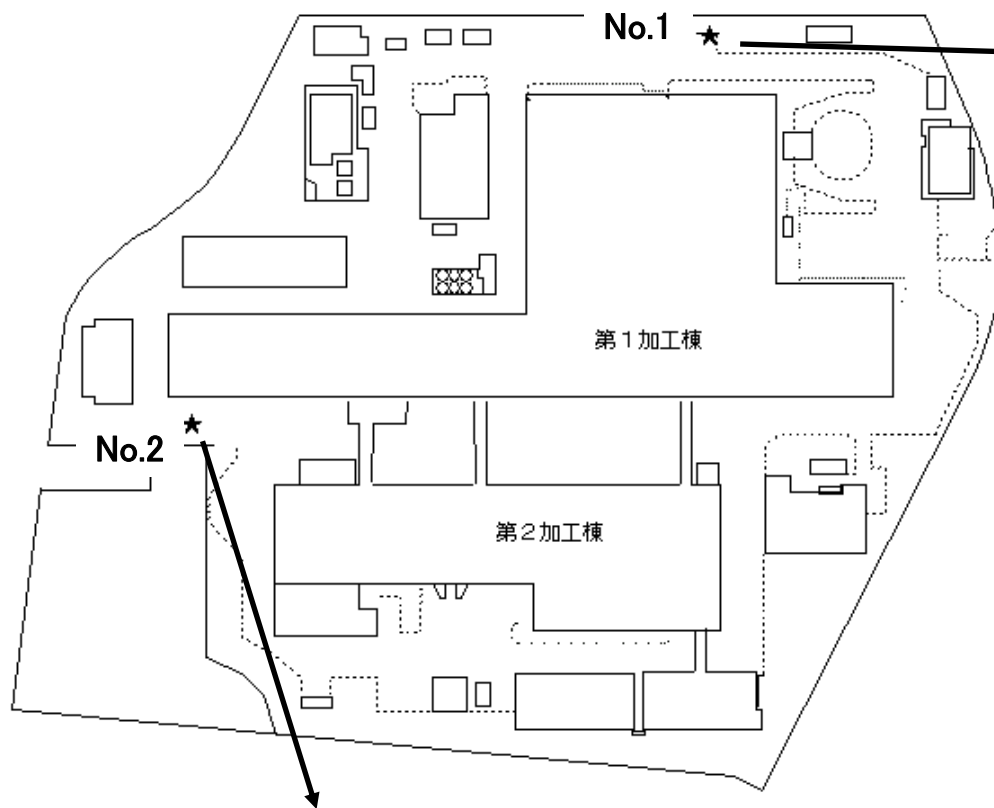
(Bq/cm³) 排気中のウラン濃度



法令値：1X10⁻⁸ Bq/cm³ (3月平均)

(月/年)

3.敷地境界における空間放射線測定 (計測場所)



★:No.1 モニタリングポスト

測定器 :NaI シンチレーション検出器(低線量率用)
電離箱検出器(高線量率用)



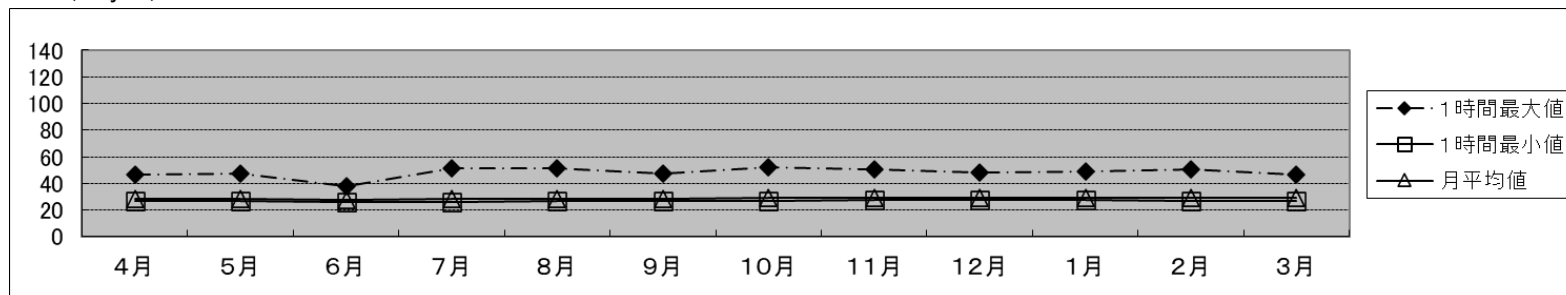
★:No.2 モニタリングポスト
(No.1と同一仕様)

3.敷地境界における空間放射線測定結果

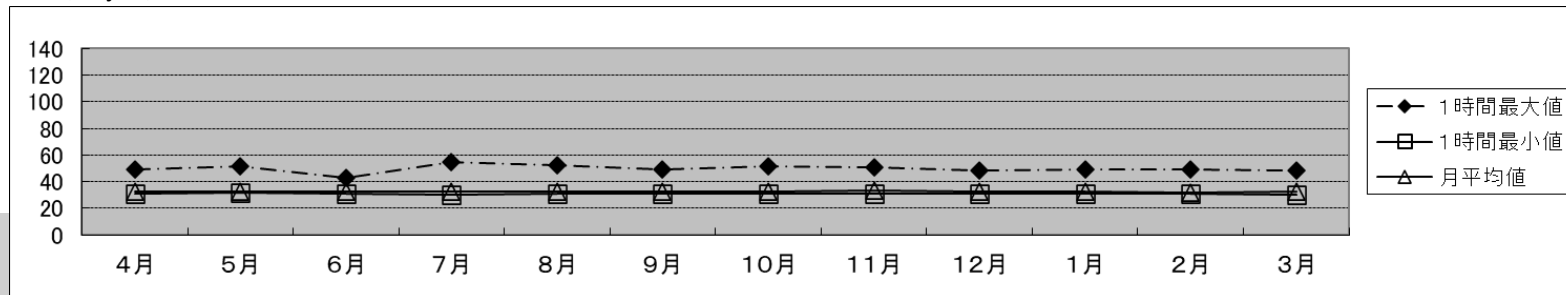
令和4(2022)年度 – 空間線量率測定結果

測定器	集計項目	単位	令和4年(2022年)										令和5年(2023年)			令和4年度 年間値	福島第1原発事故前 (平成19-21年度)	福島第1原発事故後 (平成22-令和4年度)			
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月							
No.1	1時間最大値	nGy/h	46.4	47.5	38.1	51.0	51.1	47.5	52.0	50.7	48.3	48.9	50.6	46.5	52.0	48.2	~	68.4	51.3	~	148.0
	1時間最小値	nGy/h	26.5	26.5	26.3	25.9	26.7	26.6	27.1	27.2	27.3	27.3	27.1	26.9	25.9	19.8	~	21.5	22.3	~	38.8
	月平均値	nGy/h	28.5	28.1	27.8	28.2	28.4	28.3	29.2	29.5	28.9	28.9	28.9	29.1	28.7	23.0	~	24.2	27.0	~	45.7
	積算値	nGy	20,511	20,917	20,044	21,006	21,118	20,363	21,691	20,972	21,523	21,537	19,453	21,627	0.25mGy/y	0.20mGy/y	~	0.21mGy/y	0.24mGy/y	~	0.40mGy/y
	調整時間	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	8	14	~	251	7	~	38
No.2	1時間最大値	nGy/h	48.8	51.4	42.5	54.5	52.5	48.8	51.2	50.8	48.0	49.4	49.4	48.2	54.5	50.5	~	55.1	54.3	~	135.0
	1時間最小値	nGy/h	30.9	31.3	31.2	29.9	31.1	30.7	30.8	30.9	30.7	30.7	30.6	30.4	29.9	22.3	~	26.6	26.6	~	42.9
	月平均値	nGy/h	32.8	32.7	32.5	32.8	32.5	32.2	32.7	33.0	32.3	32.2	32.1	32.2	32.5	29.0	~	29.3	31.0	~	48.4
	積算値	nGy	23,602	24,342	23,411	24,378	24,147	23,207	24,360	23,500	24,020	23,977	21,564	23,975	0.28mGy/y	0.25mGy/y	~	0.25mGy/y	0.28mGy/y	~	0.42mGy/y
	調整時間	時間	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	7	14	~	122	7	~	57

No.1 モニタリングポスト
(nGy/h)



No.2 モニタリングポスト
(nGy/h)



4.周辺環境モニタリング結果(1/4)

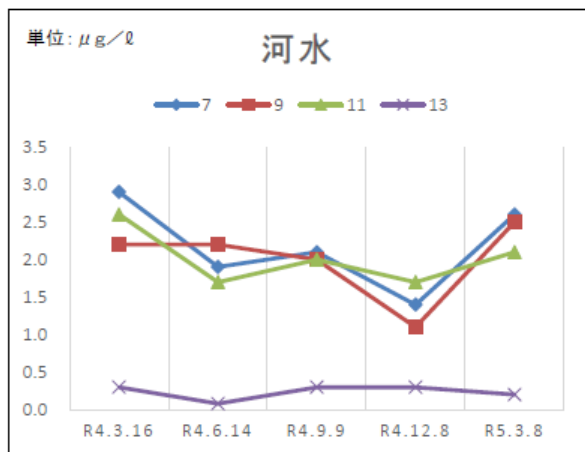
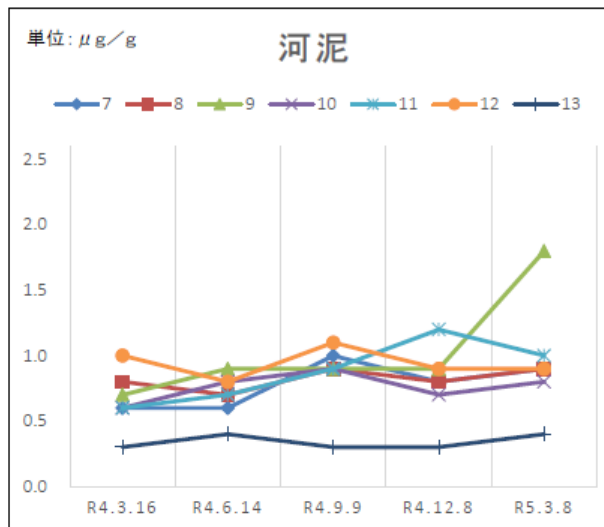
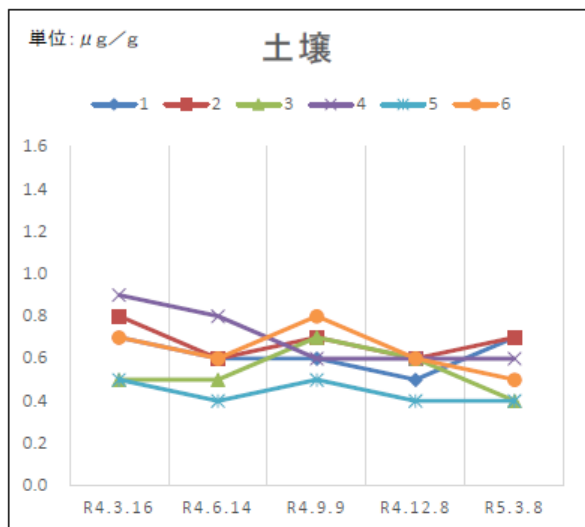
令和4(2022)年度 – 周辺環境サンプルのウラン濃度測定結果

地点番号	採取場所	試料	採取日：R04/3/16	採取日：R04/6/14	採取日：R04/9/9	採取日：R04/12/8	採取日：R05/3/8	H12年3月～R04年3月(参考)		
			測定者	測定者	測定者	測定者	測定者	第3者 (地点1-4はH26～)		
			第3者	第3者	第3者	第3者	第3者	最大値	最小値	平均値
1	敷地内東端	土 壤 測定単位 ($\mu\text{g/g}$ -乾)	0.7	0.6	0.6	0.5	0.7	0.7	0.4	0.57
2	敷地内西端		0.8	0.6	0.7	0.6	0.7	1.1	0.5	0.75
3	敷地内南端		0.5	0.5	0.7	0.6	0.4	0.9	0.5	0.55
4	敷地内北端		0.9	0.8	0.6	0.6	0.6	1.2	0.6	0.82
5	工業団地排水口付近		0.5	0.4	0.5	0.4	0.4	0.8	0.3	0.44
6	敷地外南側住宅地		0.7	0.6	0.8	0.6	0.5	0.8	0.4	0.62
7	排水口付近	河 泥 測定単位 ($\mu\text{g/g}$ -乾)	0.6	0.6	1.0	0.8	0.9	2.1	0.5	1.01
8	排水口下流50m付近		0.8	0.7	0.9	0.8	0.9	1.7	0.4	0.93
9	排水口上流水門跡付近		0.7	0.9	0.9	0.9	1.8	1.5	0.5	0.81
10	開国橋上流10m付近		0.6	0.8	0.9	0.7	0.8	1.2	0.5	0.85
11	日の出橋上流10m付近		0.6	0.7	0.9	1.2	1.0	1.3	0.6	0.95
12	排水口上流200m付近		1.0	0.8	1.1	0.9	0.9	1.3	0.4	0.83
13	排水口上流約5km大橋上流		0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.5	0.1	0.29
7	排水口付近	河 水 測定単位 ($\mu\text{g/l}$)	2.9	1.9	2.1	1.4	2.6	2.9	0.1	1.08
9	排水口上流水門跡付近		2.2	2.2	2.0	1.1	2.5	2.2	0.2	1.04
11	日の出橋上流		2.6	1.7	2.0	1.7	2.1	2.6	0.3	1.20
13	排水口上流約5km大橋上流		0.3	<0.1	0.3	0.3	0.2	0.7	0.1	0.27

- (備考) (1) 測定者の第3者機関は公益財団法人日本分析センターとした。
 (2) 土壌及び河泥は、105℃で乾燥し、粉碎して9メッシュ以下の試料とした。
 (3) ウランの分析は、H26年9月採取試料よりICP質量分析法による。H26年6月以前の試料は、固体蛍光光度法による。

4. 周辺環境モニタリング結果(2/4)

令和4(2022)年度 – 周辺環境サンプルのウラン濃度測定結果(グラフ)



試料	地点番号	採取場所	H12年3月～R04年3月		
			最大値	最小値	平均値
土壌	1	敷地内東端	0.7	0.4	0.57
	2	敷地内西端	1.1	0.5	0.75
	3	敷地内南端	0.9	0.5	0.55
	4	敷地内北端	1.2	0.6	0.82
	5	工業団地排水口付近	0.8	0.3	0.44
	6	敷地外南側住宅地	0.8	0.4	0.62
河泥	7	排水口付近	2.1	0.5	1.01
	8	排水口下流50m付近	1.7	0.4	0.93
	9	排水口上流水門跡付近	1.5	0.5	0.81
	10	開国橋上流10m付近	1.2	0.5	0.85
	11	日の出橋上流10m付近	1.3	0.6	0.95
	12	排水口上流200m付近	1.3	0.4	0.83
	13	排水口上流約5km大橋上流	0.5	0.1	0.29
河水	7	排水口付近	2.9	0.1	1.08
	9	排水口上流水門跡付近	2.2	0.2	1.04
	11	日の出橋上流	2.6	0.3	1.20
	13	排水口上流約5km大橋上流	0.7	0.1	0.27

4. 周辺環境モニタリング結果(3/4)

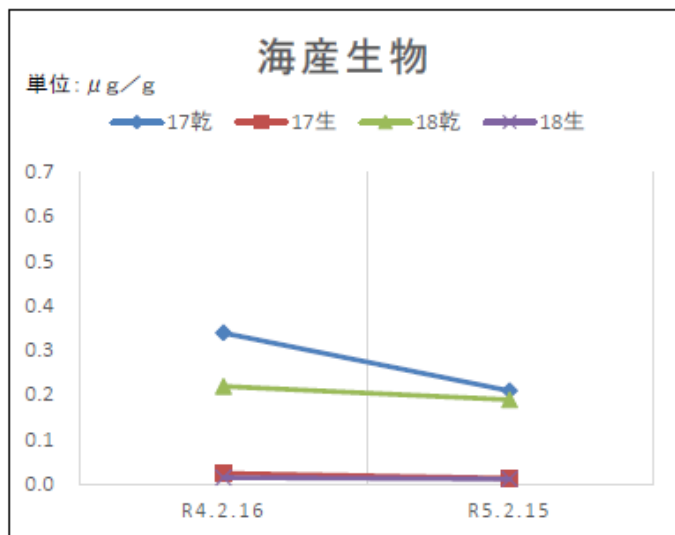
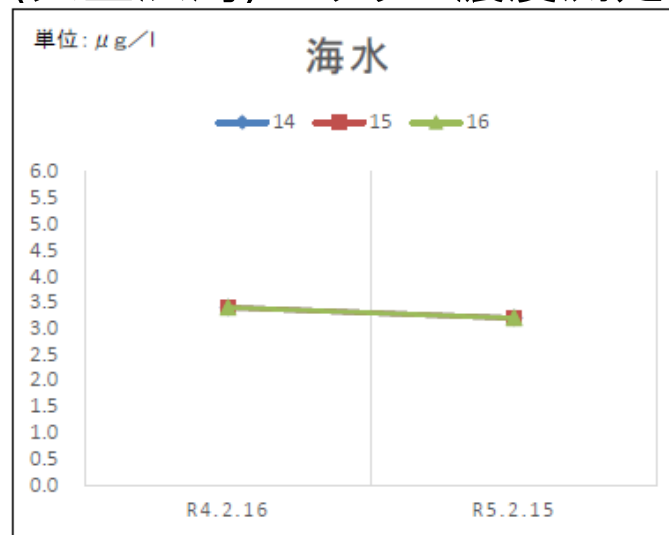
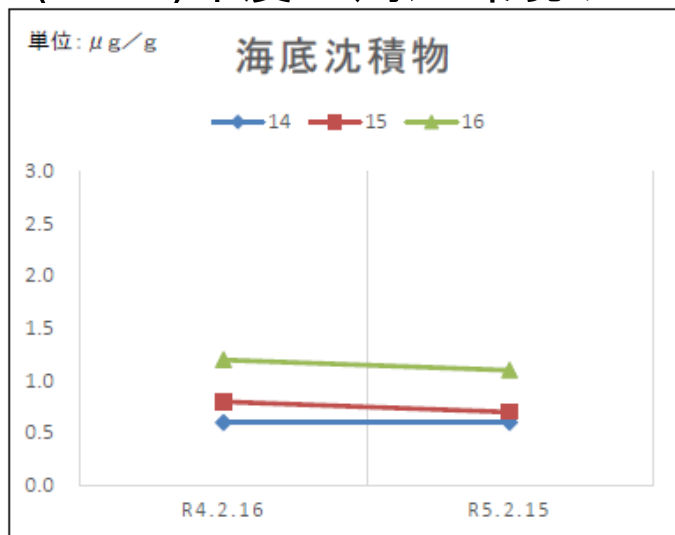
令和4(2022)年度 – 周辺環境サンプル(久里浜湾)のウラン濃度測定結果

地点 番号	採取場所	試料	採取日:R04/2/16	採取日:R05/2/15	H12年-R04年(参考)			
			測定者	測定者	第3者			
			第3者	第3者	最大値	最小値	平均値	
14	久里浜湾内	海底沈積物 測定単位 ($\mu\text{g}/\text{g}$ 乾)	0.6	0.6	1.2	0.5	0.78	
15			0.8	0.7	1.0	0.4	0.75	
16			1.2	1.1	1.6	0.9	1.26	
14	久里浜湾内	海水 測定単位 ($\mu\text{g}/\text{l}$)	3.4	3.2	3.8	2.4	3.05	
15			3.4	3.2	3.7	2.4	3.01	
16			3.4	3.2	3.7	2.1	2.97	
17	久里浜湾内	海産 生物	($\mu\text{g}/\text{g}$ 乾)	0.34	0.21	0.51	0.18	0.30
			($\mu\text{g}/\text{g}$ 生)	0.026	0.015	0.043	0.012	0.022
18			($\mu\text{g}/\text{g}$ 乾)	0.22	0.19	0.61	0.16	0.25
			($\mu\text{g}/\text{g}$ 生)	0.016	0.013	0.037	0.011	0.019

- (備考)
- (1) 測定者の第3者機関は公益財団法人日本分析センターとした。
 - (2) 海底沈積物は、105°Cで乾燥し、粉碎して9メッシュ以下の試料とした。
 - (3) 海産生物は、105°Cで乾燥した後450°Cで灰化粉碎とした。
 - (4) ウランの分析は、H26年9月採取試料よりICP質量分析法による。H26年6月以前の試料は、固体蛍光光度法による。

4. 周辺環境モニタリング結果(4/4)

令和4(2022)年度 – 周辺環境サンプル(久里浜湾)のウラン濃度測定結果(グラフ)



試料	地点番号	H12年-R04年(参考)		
		最大値	最小値	平均値
海底沈積物	14	1.2	0.5	0.78
	15	1.0	0.4	0.75
	16	1.6	0.9	1.26
海水	14	3.8	2.4	3.05
	15	3.7	2.4	3.01
	16	3.7	2.1	2.97
海産生物	17乾	0.51	0.18	0.30
	17生	0.043	0.012	0.022
	18乾	0.61	0.16	0.25
	18生	0.037	0.011	0.019

